

【ポスターセッション】

「障害者権利アクティヴィズム」の可能性

－「機能権スウェーデン」を事例に－

○ 中部学院大学 福地 潮人 (006475)

キーワード： 障害者運動、障害者権利アクティヴィズム、機能権スウェーデン

1. 研究目的

本報告では、スウェーデンの障害者運動の「新しい社会運動」(NSM)としての側面を明らかにすることを目的とする。障害者が展開する集合的な政治行為に関してはこれまで、労働組合運動や協同組合運動などと同じく、物質的な資源配分と政治的権利の回復を訴求し、物質主義的な価値観に支えられた社会運動と見なされてきた(例えば、Shakespeare [1993])。フランスの社会学者トゥレーヌがかつて注目した、文化的な変革を訴求し、脱物質的価値観を主軸にした社会運動である NSM との対比でいえば、「古い社会運動」ということになる(トゥレーヌ 1978=2011)。

しかしながら近年、障害者運動の NSM としての側面について指摘する論考も現れている。ドイツ・ケルン大学の社会学者、ヴァルトシュミットらの「障害者権利アクティヴィズム」(Disability Rights Activism: DRA)に関する研究はその典型である(Waldschmidt, et.al. 2015)。

2. 研究の視点および方法

ヴァルトシュミットらは障害者の集合的な政治行為を①自助グループ、②障害者組織、③DRA の3つに分類した上で、③について欧州9カ国で活動するナショナルレベルの団体を比較分析している。本報告では、このヴァルトシュミットらの議論を分析枠組みに位置づけた上で、スウェーデンの障害者運動の特性を抽出する。対象となるのは、スウェーデン最大の障害者団体であり、同国の障害者運動のナショナルセンターでもある「機能権スウェーデン」(Funktionsrätt Svarige: FRS)である。同団体の国家との関係および市民社会における位置づけについて分析することを通して、「新しい社会運動」としての側面を明らかにする。

3. 倫理的配慮

日本社会福祉学会の規定する倫理規定に基づき、全面的な配慮を行った。なお、本研究では、障害者の個人名が特定できるものなど、公表に際して配慮すべき内容を含む資料は一切使用していない。

4. 研究結果

本研究の結果、明らかになったのは以下の2点である。一つはFRSの①政府との関係である。同団体の財政構造を見ると、予算の9割が政府補助金と競争的資金で占められており、41に上る傘下団体からの上納金である会費収入はわずか8%程度を占めるに過ぎない。よって、同団体は財政面から見る限り、まさに政府依存型の組織である。ここからすれば、政府との距離感に疑問がわくのも当然である。しかしながら同団体は、同国政府の障害者政策に関して様々な提言を行う一方で、近年ではLSSサービスの後退に警鐘を鳴らすなど、一貫して厳しい監視の目を光らせてもいる。

次にFRSの②市民社会との関係である。これは2017年5月の名称変更典型的に表れている。同団体は旧呼称であったHSO(Handikappförbundens Samarbetsorgan)から、現在の名称への変更を行っている。同団体幹部のクレインによると、現呼称に含まれる「機能権」という言葉はスウェーデン語には存在せず、同国社会省のTermbankにも登録されていない、全く新しい言葉である。名称変更の理由には、同団体を構成する傘下組織の多くを患者団体が占めていることから、利益団体としての活動を行う際に齟齬が生じていることなどが挙げられてもいる(Klein 2016)。しかしながら他方で、FRSは名称変更を機に造語を行うことを通して、スウェーデンの市民社会に一石を投じることを狙ってもいる。

5. 考察

FRSは、財政的には国家に大きく支えられつつも、国家の障害者政策を厳しく監視している。我々はこの点に国家によるメタ・ガバナンスを監視する社会運動の役割を見出すことができる。さらに、そのような利益団体的な役割だけでなく、「障害」概念を市民社会に問いながら、資源配分や政治権力の訴求に留まらない、反差別文化と脱物質的価値観を創造しているのである。これこそまさに、DRAとしての同団体のNSM的側面なのである。

[参考文献および資料]

HSO (2016) Årsredovisning för räkenskapsåret 2015(Handikappförbunden Org nr 802006-2108).

Klein, M. (2016) Begreppet "Funktionsrätt"- analys av intressepolitiska möjligheter med lanseringen av ett nytt begrepp i svenska språket, HSO.

Shakespeare, T. (1993) Disabled people's self-organisation: a new social movement?, *Disability, Handicap & Society*, 8(3), pp. 249-264.

トゥレーヌ, A.(1978 [梶田孝道 訳=2011]) 『新装・声とまなざし: 社会運動の社会学』、新泉社。

Waldschmidt, Anne / Anemari Karačić / Andreas Sturm / Timo Dins. (2015)

“Nothing About Us Without Us”: Disability Rights Activism in European Countries – A Comparative Analysis, in *Moving the Social* · 53, pp. 103 - 137.